

めざす児童生徒像

- ・考える子 … 主体的に考え、自分の言葉で語り合い、考えをつなぐ児童
- ・助け合う子 … 自他を尊重し、互いに認め合い、高め合う児童
- ・元気な子 … 健康的で安全な生活を実践する児童

※児童生徒結果-教員結果-保護者結果

項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
			教員	児童生徒	保護者			
(学校重点項目)	自己肯定感の向上	①②ともに肯定的回答が90%以上	① 学校は楽しい					
			② 自分には良いところがある。					
			集計					

項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
			教員	児童生徒	保護者			
業務の改善	①②ともに肯定的回答が90%以上	① 時間外勤務時間が月80時間を越えないように努めている。						
		② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができている。						

項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
			教員	児童生徒	保護者			
小松市共通重点項目	学校研究	①の肯定的な回答の割合が、中間…90%以上 年度末…95%以上	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、具体的な取組を共通実践している。					
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。					
			集計					
	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	②の肯定的な回答の割合が、中間…90%以上 年度末…95%以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。					
			② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができている。					
			③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。					
			④ 児童生徒は、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。					
			⑤ 児童生徒は、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、友達と考えを共有したり比べたりすることができている。					
			集計					
	カリキュラム・マネジメント	②③の肯定的な回答の割合が、中間…90%以上 年度末…95%以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。					
			② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。					
			③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。					
			④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)					
⑤ カリキュラムマップを活用しながら、めざす児童像の実現に向けて各教科等や学校行事・各種取組に全職員がカリキュラム・マネジメントの視点をもって取り組んでいる。								
集計								
学力の向上	①②ともに肯定的回答の割合が、中間…90%以上 年度末…95%以上	① 児童生徒は、分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。						
		② 児童生徒は、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、自分のペースで理解しながら学習を進めることができている。						
		集計						